

年間学習計画と評価について

学 校 名	学 年	教 科
内 部 中 学 校	3 年	社会科

1 学習のねらい等

学習のねらい	<p>【歴史的分野】</p> <p>① 近代の歴史の流れを理解しつつ、日本の文化や伝統を理解する。</p> <p>② 日本の歴史と諸外国の歴史の関連を考え、世界の動きの中での日本の動きを理解する。</p> <p>③ 調べ学習をもとにして、資料の使い、考えを表現する能力を身につける。</p> <p>④ 授業に積極的に参加し、周りの意見を容れながら自分の意見をまとめて発表する力を高める。</p> <p>【公民的分野】</p> <p>① 民主主義に関する理解を深めるとともに、国民権を担う公民として必要な基礎的知識を身につける。</p> <p>② 経済活動とのかかわり及び現代社会について、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深め、社会問題に着目させ、自ら考えようとする態度を養う。</p> <p>③ 国際的な相互依存関係の深まりの中で、各国民が協力し合うことの大切さを認識し、自国を愛し、平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚する。</p> <p>④ 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考え、事実を正確にとらえ、公正に判断し、表現する能力と態度を育てる。</p>
使用教材	<p>教科書：【歴史的分野】：東京書籍「新しい社会 歴史」</p> <p style="padding-left: 2em;">【公民的分野】：日本文教出版「中学社会 公民的分野」</p> <p>問題集：【歴史的分野】：浜島書店「歴史の学習2・3年」</p> <p style="padding-left: 2em;">【公民的分野】：浜島書店「公民の学習」</p> <p>資料集：【歴史的分野】：明治図書「ビジュアル歴史資料集」</p> <p style="padding-left: 2em;">【公民的分野】：とうほう「ビジュアル公民2018」</p>

2 評価の観点および方法

評 価 の 観 点	評 価 の 観 点	評 価 の 方 法
① 社会的事象への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な事象に対する関心を深め、それを意欲的に追求していこうとする態度で臨む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の学習活動 ・ノートやワーク等の提出物の内容 ・各種テストや課題・レポート等
②社会的な思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な事象について考えを深め、自分の意見を持ち、発表することができる。 ・学習の中で課題を見出し、社会のできごとをいろいろな面から考え、正しく判断する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の学習活動 ・ノートやワーク等の提出物の内容 ・各種テストや課題・レポート等
③資料活用の技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・グラフや資料などを読み取り、正しく理解することができる。 ・課題解決のために必要な資料を収集し、その結果をまとめ、発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の学習活動 ・ノートやワーク等の提出物の内容 ・各種テストや課題・レポート等
④社会的事象についての知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・社会的な思考力、判断力、表現力につながる、基礎的・基本的な知識を理解し、習得することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の学習活動 ・ノートやワーク等の提出物の内容 ・各種テストや課題・レポート等

3・学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
歴史 1学期	第5章 開国と近代日本の歩み 第2節 明治維新 第3節 日清・日露戦争と近代産業	① 明治維新の経緯や改革の内容、人々の生活の変化に対して関心を高め、意欲的に追究している。 ② 新政府の諸改革の特色、自由民権運動から憲法制定までの時期について、多面的・多角的に考察し、適切に判断している。 ③ 日清戦争から韓国の植民地化までの日本の動きを年表などにまとめている。 ④ 日本と大陸との関係のあらましを、日清・日露戦争・条約改正を通して理解し、その知識を身につけている。
	第6章 二つの世界大戦と日本 第1節 第一次世界大戦と日本 第2節 世界恐慌と日本の中国侵略 第3節 第二次世界大戦と日本	① 二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしたのかについて、追究する態度を身につけている。 ② 日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し、自分の意見を述べる。 ③ 写真や日記・記録などの資料や表やグラフなどの客観的な統計から、当時の情勢を読み取っている。 ④ 二度の世界大戦の頃の日本の政治・経済・社会・文化の動きについて理解し、知識を身につけている。
	第7章 現代の日本と世界 第1節 戦後日本の発展と国際社会 第2節 新たな時代の日本と世界	① 個人の歴史と日本全体の歴史とを関連付け、また世界的な視野を持つ公正な歴史観を持つよう努めている。 ② 戦後の日本の歩みについて考え、時代が大きく変わる時期を考え、自分の意見を述べようと努めている。 ③ 表やグラフなど数量的資料を積極的に活用しようとし、多くの写真や実物資料を用いて当時の生活を実感しようとしている。 ④ 終戦から現代に至るまでの出来事の概要について、世界の動きと関連させて理解し、現在までの問題や、日本及び世界の将来の課題を理解している。
公民 1学期	第1編 私たちと現代社会 1 私たちが生きる 現代社会の特色	① 現代日本の社会にはどのような特色が見られ、どのような伝統や文化の影響を受けているのかについて意欲的に追究している。 ② 現代日本の社会の特色である少子高齢化、情報化、グローバル化などが政治、経済、国際関係に影響を与えていることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
	2 現代社会の 文化と私たち	① 写真や統計資料、聞き取り調査などの現代日本の社会の特色や我が国の伝統と文化に関する様々な情報を適切に選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 ② 少子高齢化、情報化、グローバル化といった現代日本の特色や現代社会における文化の意義や影響を理解し、その知識を身に付けている。
	3 現代社会をとらえる 見方や考え方	① 様々な社会集団の一員として、家族、学校、地域の自治会、職場など集団における物事の決定の仕方、きまりの意義に対する関心を高め、それらを守ることを意欲的に追究している。 ② 具体的事例を基に、物事の決定の仕方や、決定したことを守ることにどのような意味があるのかについて、対立と合意、効率と公正といった見方や考え方をを用いて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③ 物事の決定の仕方、きまりの意義に関する具体的な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④ 人間は社会的な存在であり、よりよい社会生活を営んでいくためにはきまりや取り決めが必要であることを理解し、その知識を身に付けている。

	<p>第2編 私たちの生活と政治</p> <p>1 法に基づく政治と 日本国憲法</p> <p>2 日本国憲法と 基本的人権</p> <p>3 日本の平和主義</p>	<p>① 基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方や、法や法に基づく政治に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、民主的な社会生活について考えようとしている。</p> <p>② 身近で具体的な事例を通して、日本国憲法に基づく政治によって国民の自由と権利が守られていることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③ 人間の尊重についての考え方や法に関する様々な資料を収集し、収集した資料の中から、学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>④ 各人の人権を守り社会生活を営む規範となることに法の意義があること、法に基づく政治によって基本的人権の保障を目指していることを理解し、その知識を身に付けている。</p>
<p>2 学期</p>	<p>第2編 私たちの生活と政治</p> <p>1 民主政治を支える 地方自治</p> <p>2 くらしを支える 地方自治</p> <p>3 国の政治のしくみ</p>	<p>① 国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、国や地方公共団体の仕組みや考え方について意欲的に追究している。</p> <p>② 議会制民主主義が我が国の政治の原則になっていること、主権者として主体的に政治に参加することの意義について多面的・多角的に追究している。</p> <p>③ 調査や見学などによって議会制民主主義や地方自治の政治の仕組みについての様々な資料を収集し、自らが自らを治めるという民主政治の基本的な考え方や、その考え方に基づく国や地方公共団体の政治の仕組みについての学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>④ 地方自治の基本的な考え方、地方公共団体の政治の仕組み、我が国の民主政治の仕組みのあらまし、政党の役割、多数決の原理とその運用の在り方、法に基づく公正な裁判の保障について理解し、その知識を身に付けている。</p>
	<p>第3編 私たちの生活と経済</p> <p>1 消費生活と 経済のしくみ</p> <p>2 生産の場としての企業</p> <p>3 金融のしくみと お金の価値</p>	<p>① 個人の消費生活に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、個人の消費生活について考えようとしている。</p> <p>② なぜ市場経済という仕組みがあるのか、どのような機能があるのかについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③ 価格や消費生活に関わる様々な資料を収集し、有用な資料を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>④ 経済活動の意義について消費生活を中心に理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>① 身近で具体的な経済的事象から、企業の生産活動、金融の働きについて関心を高め、それを意欲的に追究し、個人や企業の経済活動について考えようとしている。</p> <p>② 企業の社会的責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、経済活動に関わる様々な立場から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③ 企業の生産活動、金融などに関する資料を様々な情報手段を活用して収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>④ 企業は公正な経済活動を行い、消費者、株主や従業員の利益を増進させる役割を担っていること、社会的責任を負っていることを理解し、その知識を身に付けている。</p>

3 学 期	第3編 私たちの生活と経済 4 財政と国民の福祉	① 税の負担者として租税の使い道などについて理解と関心を深めるなど納税者としての自覚をもっている。 ② 市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に対して国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を表現している。 ③ 財政の役割や国や地方公共団体の経済活動についての様々な情報手段を用いて収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④ 社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保障の充実、消費者の保護、租税の意義と役割及び国民の納税の義務について理解し、その知識を身に付けている。
	第4編 現代の国際社会 1 国家と国際社会 2 国際社会の課題と 私たちの取り組み	① 国際理解と国際協力に対して積極的に取り組む意欲を高めている。 ② グローバル化してきた国際社会における我が国の役割、日本の国際貢献、世界平和や地球環境、資源・エネルギー、貧困などに関わる課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ③ 世界平和の実現と人類の福祉の増大に関わる国際社会の活動に関する資料を様々な情報手段を活用して収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④ 国際政治は国家間の対立の克服を試みるものであること、全ての国家の主権が相互に尊重されなければならないこと、地球環境、資源・エネルギー、貧困な課題に対しては、経済的、技術的な協力が必要であることを理解し、その知識を身に付けている。
	第5編 私たちの課題	① 持続可能な社会に対する関心を高め、それを形成するために解決すべき課題を意欲的に探究し、自分の考えをまとめようとしている。 ② 身近な地域の生活や我が国の取り組みとの関連性に着目し、持続可能な社会を形成するために解決すべき課題を見いだしている。 ③ 持続可能な社会を形成するために解決すべき課題に関する様々な資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ④ 探究の方法として、課題の設定、資料の収集と読み取り、考察とまとめといった手順を理解し、その知識を身に付けている。

4・学習方法についてのアドバイス（歴史・公民的分野）

学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史は単語や語句を覚えるのではなく、歴史全体の流れや、語句の説明ができるようにしましょう。 ・公民の政治分野は憲法や政治など、自分たちの現在身の回りで起こっていることが題材になっています。日本の決まりを理解し、自分の意見を持ち、発表できるようにしましょう。 ・公民の経済分野はお金やものの動きなど、自分の身近でおこなわれている動きが題材となります。経験や体験などから授業の内容を理解し、意見を持つことができるようにしましょう。
------	----	--

家庭

- ノートの右半分を利用し、学んだことをまとめるとともに、授業で理解できなかったことや、疑問に思ったことなどを調べるようにしましょう。自分で調べることが力になっていきます。
- 年表やグラフなど文字だけでなく、図を書くなどノート作りを工夫するようにしましょう。見やすいノート作りを心がけましょう。
- 『歴史の学習 2・3』や『公民の学習』で習ったことを確認しましょう。習った日、その週の土日、定期テスト前の計 3 回の復習確認をしていくと定着しやすいです。
- 宿題が出たときは必ずしましょう。また、ワークに付属している活用ノートを習ったときに取り組んでおくと知識が定着していくので積極的に活用しましょう。
- 資料などをしっかりと見て知識をしっかりと定着をさせていきましょう。